

ロシアでダニ媒介性脳炎が流行

2011年7月1日 ProMED 情報(Sibkrai.ru News Agency)



消費者保護及び福祉連邦機関(Rospotrebnadzor)によると、ダニに咬まれた患者が昨年の同時期の 11,547 名と比較して、本年は、6 月 17 日現在、16,439 名と増加が報告されています。このうち 3,861 名(23.4%)が 14 歳以下の子供です。以上のうち、379 名がダニ媒介性脳炎(TBE)の疑いで入院しました。これには、14 歳以下の 35 名の子供が含まれています。検査により確定診断されたのは 49 名です。他に 63 名がライム病と確定診断されました。

今年前半の 6 カ月間で、ダニ媒介性脳炎で 3 名が死亡しました。全員予防接種を受けていませんでした。1 名は、ダニ媒介性脳炎の免疫グロブリンの緊急治療を受けましたが、死亡しました。死亡患者 3 名は全員ノボシビルスク Novosibirsk 市の住民で、ダニに咬まれたとの記憶があったのは 1 名だけでした。

[ProMED 調整者]今では、ダニ媒介性脳炎はライム病と異なりワクチン接種で予防できる病気です。